

# 研究分野紹介および研究活動

2023 年度

## 建築学系 構造コース

### 研究分野紹介

#### 新機能型構法研究室

(島崎和司 教授, 白井佑樹 助教)

新しい機能を持った構造形式の研究, 鉄筋コンクリート構造の耐震性能, 使用性能等の性能設計に関する研究, 鉄筋コンクリート構造の損傷低減構造の実験的研究

#### 耐震・耐風構造研究室

(吉江慶祐 教授, 楊曉雨 助教)

制振構造・免震構造の暴風・地震に対する動的挙動とその予測法に関する研究, 制振構造・免震構造の耐震および耐風構造安全性の検証方法・設計法に関する研究

#### サステナブル建築構造研究室

(藤田正則 教授, 中村慎 助教)

建築鋼構造分野において, 建築構造を骨組・部材・接合部・材料に分類して総合的に捉える構工法から, 分析的に捉える実験と解析, さらにそれらを実現するための設計までの全般にわたる研究を行っている

#### 地震工学, 災害リスクマネジメント研究室

(朱牟田善治 教授, 落合努 助教)

地盤・構造物の振動特性・劣化特性の評価, サイズミック・マイクロゾーニング手法の開発, 災害リスク評価手法の開発, 地域防災力の評価方法の開発

### 研究論文 I(レフェリー付き論文)

(欧文誌)

1. H. Zhang, Y. G. Zhao, F. W. Ge, Y. Fang, T. Ochiai, Estimation of input energy spectrum from pseudo-velocity response spectrum incorporating the influences of magnitude, distance, and site conditions, Engineering Structures, 274 (2023).
2. H. Zhang, Y. G. Zhao, T. Ochiai, Y. Fang, Relationship between SDOF-Input-Energy and Fourier Amplitude Spectral Amplification Ratios, Bulletin of the Seismological Society of America, 13 (3) (2023).
3. M. Fujita, K. Awazu, M. Nakamura, K. Yamasaki, M. Iw

ata, Proposal and Application of Structural Soundness Monitoring System for the Buckling-Restrained Brace Using Steel Mortar Planks, Steel Construction, Design and Research, 2023.

(和文誌)

1. 中村慎, 瀧澤裕貴, 藤田正則, 緑川光正, 鋼モルタル板を用いた座屈拘束ブレースの実験的研究 - 充填材の影響を考慮した拘束材の局部破壊に関する検討-, 日本建築学会構造系論文集, 88 (807), 844-855 (2023).
2. 佐藤宏貴, 坂上教夫, 白井佑樹, 島崎和司, ボイドスラブの長期たわみに関する実験的研究(その1): ボイドスラブの長期載荷実験, 日本建築学会構造系論文集, 88 (811), 1391-1398 (2023).

### 研究論文 II(レフェリー付き Proceedings)

1. 花里利一, 白井佑樹, 落合努, 佐藤孝雄, 森井順之, 佐藤成, 国宝銅造阿弥陀如来坐像の地震対策 -その 1 災害・修復史と微動測定による基本的振動特性-, 第 16 回日本地震工学シンポジウム論文集, Day3-G419-08 (2023.11).
2. 白井佑樹, 花里利一, 佐藤孝雄, 山脇光瑠, 鈴木知晃, 今井連, 島崎和司, 新津靖, 国宝銅造阿弥陀如来坐像の地震対策 その 2 地震モニタリングと 3 次元モデルによる動的解析, 第 16 回日本地震工学シンポジウム論文集, Day3-G419-09 (2023.11).
3. 大鶴駿介, 楊曉雨, 黒澤未来, 吉敷祥一, ALC パネルの取付部における引張力に対する力学挙動, 鋼構造年次論文報告集, 31, 695-700 (2023.11).

### 口頭発表

1. 白井佑樹, 伊山潤, 涌井将貴, 島崎和司, 体育館を対象とした継続使用性の判定方法に関する検討 その 2 露出柱脚部におけるモルタルの有無が与える影響, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 201-202 (2023.7).
2. 山脇光瑠, 白井佑樹, 花里利一, 島崎和司, 今井連, 鈴木知晃, 佐藤孝雄, 新津靖, 鎌倉大仏保存活用

- に向けた耐震安全性能評価 その1 地震動観測と3次元有限要素解析モデルの作成, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 901-902 (2023.7).
3. 今井連, 白井佑樹, 花里利一, 島崎和司, 山脇光瑠, 鈴木知晃, 佐藤孝雄, 新津靖, 鎌倉大仏保存活用に向けた耐震安全性能評価 その2 3次元有限要素固有値解析と常時微動との比較, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 903-904 (2023.7).
  4. 佐藤信夫, 花里利一, 島崎和司, 白井佑樹, 佐藤宏貴, 三須 基規, 坂本 功: 伝統木造建物の柱脚部制振に関する研究 その4 一定軸力下における動的実験, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 333-334 (2023.7).
  5. 長谷川泉輝, 白井佑樹, 島崎和司, 小橋資子: デッキ合成スラブの構造性能に関する研究 その3 -デッキプレート形状が合成効果に与える影響の実験的検討-, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 1399-1400 (2023.7).
  6. 西郷凜太郎, 島崎和司, 白井佑樹, 逆対称曲げを受ける柱の端部境界条件の違いによる耐力の評価 その3 既往実験の解析的検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 129-130 (2023.7).
  7. 鈴木俊裕, 白井佑樹, 島崎和司, 部材端に軸降伏型履歴ダンパーを適用したアンボンドプレストレストコンクリート梁の性能検証 その5 立体骨組みモデルによる解析的検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 583-584 (2023.7).
  8. 陳政昊, 花里利一, 白井佑樹, 島崎和司, 佐藤宏貴, 新津靖, 歴史的組積造建物の動的安全変形限界 その1 面内破壊モデルの予備加振実験, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 625-626 (2023.7).
  9. 楊曉雨, 大鶴駿介, 黒澤未来, 吉敷祥一, 山下泰介, 柴田益弘, ALC パネルにおける埋込みアンカーの引抜き耐力の実験的評価 その 1: 曲げ実験と引張実験の計画, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 699-700 (2023.7).
  10. S. Ozuru, X. Yang, M. Kurosawa, S. Kishiki, T. Yamashita and M. Shibata, Pullout Strength of Embedded Anchors in Autoclaved Lightweight Concrete Panels, 12th International Symposium on Steel Structures, 670-673, Korea (2023.11).
  11. 大鶴駿介, 吉敷祥一, 楊曉雨, 黒澤未来, ALC パネルにおける取付金物の剛性・耐力, 日本建築学会関東支部研究報告集, 94, 105-108 (2024.3).
  12. 藤田正則, 中村慎, 岩田衛, 充填材表面に不陸を有する座屈拘束ブレースの実験, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 1065-1066 (2023.7).
  13. 中村慎, 藤田正則, 緑川光正, 鋼モルタル板を用いた座屈拘束ブレースにおける拘束材の局部破壊に関する研究(その4) 芯材強軸方向の局部破壊に関する考察, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 1063-1064 (2023.7).
  14. 山田龍平, 中村慎, 藤田正則, 曲げ履歴を受けたSS鋼材の機械的性質に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 835-836 (2023.7).
  15. 林佑哉, 湊田安浩, 中村慎, 藤田正則, 鋼プレート付LVL 梁とRC 床の接合部の面内せん断実験—鋼プレートおよび接合材の影響—, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 423-424 (2023.7).
  16. 田村和夫, 藤田正則, 浸水被害を受けた木造住宅の復旧に関する調査報告, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 243-244 (2023.7).
  17. 久田嘉章, 片野彩歌, 村上正浩, 田村和夫, 藤田正則, 令和2 年球磨川水害における建築物の被害調査と木造家屋の被害関数の検討 その1: 対象地と調査方法, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 53-54 (2023.7).
  18. 片野彩歌, 久田嘉章, 村上正浩, 田村和夫, 藤田正則: 令和2 年球磨川水害における建築物の被害調査と木造家屋の被害関数の検討 その2: 調査結果と被害関数の検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 55-56 (2023.7).
  19. 朱牟田善治, 村田颯也, 落合努, 道路橋の定期点検記録に基づく劣化要因の特定, 令和5年度土木学会全国大会第78回年次学術講演会, VI-499 (2023.9).
  20. 朱牟田善治, 落合努, 新津靖, 花里利一, 風荷重に対する五重塔の変形特性, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 109-110 (2023.7).
  21. 落合努, 朱牟田善治, 花里利一, 白井佑樹, 佐藤信夫, 郡山市開成館を対象とした地震動の再現解析, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 771-772 (2023.7).
  22. 朱牟田善治, 落合努, 構造物の劣化診断と災害時復旧迅速化に寄与するセンシングデバイスの試作, 2023年電気学会 電子・情報・システム部門大会, OS8-9 (2023.8).
  23. 遠藤尚希, 朱牟田善治, 配電設備の台風被害予測システム(RAMPT)の精度向上に係る検討 -樹木倒壊と土砂災害による被害を考慮した補正手法の検討-, 2023年電気学会 電子・情報・システム部門大会, OS8-2 (2023.8).
  24. 落合努, 朱牟田善治, 白井佑樹, 涌井将貴, 伊山潤, 避難施設を対象とした構造ヘルスマニタリングの試み, 2023年電気学会 電子・情報・システム部門大会, OS8-7 (2023.8).
  25. 落合努, 荏本孝久, 宮野道雄, 生田英輔, 小田義也, 墓石転倒調査による推定加速度と微動観測結果の比較 -1978年宮城県沖地震を対象として-, 令和5年

度土木学会全国大会第78回年次学術講演会, CS10-13 (2023.9).

26. 荏本孝久, 落合努, 統計データに基づく地震災害リスクの相対評価と地域間比較, 第16回日本地震工学シンポジウム, Day1-C2-PB01(2023.11).
27. 落合努, 小田義也, 三辻和弥, 先名重樹, 荏本孝久, ボーリングデータと常時微動観測を活用した三次元地下構造モデル作成手法の検討, 第16回日本地震工学シンポジウム, Day1-G417-20 (2023.11).
28. 朱牟田善治, 落合努, 地盤増幅率の再現性に関する事例分析, 第16回日本地震工学シンポジウム Day1-G419-14 (2023.11).
29. T. Enomoto, M. Navarro, T. Ochiai, Importance of using microtremor observations in seismic microzoning studies for understanding soil condition in seismic risk reduction procedures, 13th International Workshop on Seismic Microzoning and Risk Reduction, KL01 (2023.11).
30. Y. Shumuta, T. Ochiai, T. Tenjin, Reproducibility of seismic ground motion amplification and residential home damage in the Fukushima area, 13th International Workshop on Seismic Microzoning and Risk Reduction, P01 (2023.11).
31. T. Ochiai, Y. Shumuta, T. Enomoto, Y. Oda, Seismic Microzoning Using Microtremors H/V Spectral Ratios: A Case Study in the Shonai Plain, Northern Japan, 13th International Workshop on Seismic Microzoning and Risk Reduction, P12 (2023.11).
32. 郷右近英臣, 松川杏寧, 落合努, 畠山久, 杉安和也, 寅屋敷哲也, 倉田和己, 河本尋子, 佐藤翔輔, 地域安全学夏の学校2023 -基礎から学ぶ防災・減災- 地域安全学領域における若手人材育成 その7, 2023年地域安全学会梗概集, 53, 61-64 (2023.11).
33. 朱牟田善治, 落合努, 道路橋の振動特性を把握するセンサネットワークシステムの試作と計測, 第14回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演論文集, 122-127 (2024.1).

## 学術誌

1. 北村春幸, 吉江慶祐, 我が国の鉄骨造の技術的変遷 第15回設計用地震動・風荷重と設計クライテリア(第1回), ビルディングレター, 日本建築センター (2023.4).
2. 吉江慶祐, 北村春幸, 我が国の鉄骨造の技術的変遷 第15回設計用地震動・風荷重と設計クライテリア(第2回), ビルディングレター, 日本建築センター (2023.5).
3. 落合努, 盛土造成地等を対象とした微動観測による地

盤構造の推定事例, 基礎工, 52 (3), 38-40 (2024.3).

## 調査報告書

1. 藤田正則, 田村和夫, 中村慎, 長野市長沼体育館の水害調査と氾濫時作用外力に関する考察 (2022.11).

## 講演・展示会

1. 吉江慶祐, 免震建築物の耐風設計法, 第165回フロンティア材料研究所学術講演会 (東京工業大学, 2023.10).
2. 吉江慶祐, 免震・制振建物の耐風設計, 第15回振動技術展・基調講演 (パシフィコ横浜, 2024.2).
3. 朱牟田善治, 自然災害リスクと都市構造, 神奈川大学社会連携部高大連携協議会事務局 (2023).
4. 朱牟田善治, 電力ライフラインの近年の災害事例とその対策, 第8回防災推進国民大会, 「デジタルツイン×防災」が紡ぎだす社会の未来予想図, 豊穡な社会のための研究センター「もしも×可視化」研究所主催セッション, 神奈川県関東大震災から100年の教訓を未来につなぐ (横浜国立大学, 2023.9).
5. 朱牟田善治, 地震災害発生時の停電による被害と影響, 第8回防災推進国民大会, 9Os-7 オリジナルセッション, 神奈川県関東大震災から100年の教訓を未来につなぐ (横浜国立大学, 2023.9).
6. 落合努, 北網島小学校における防災支援活動, 第8回防災推進国民大会, Os-7 オリジナルセッション, 神奈川県関東大震災から100年の教訓を未来につなぐ (横浜国立大学, 2023.9).
7. 朱牟田善治, 電力レジリエンス向上に向けた災害情報の活用技術, 2023 年度 送配電設備の風荷重・応答評価技術研修コース (電力中央研究所, 2023.9).
8. 朱牟田善治, センシング技術を用いた都市の災害リスクマネジメント, 神奈川大学テクノフェスタ2023 暮らしと環境の未来 住み続けられるまちづくりを (神奈川大学, 2023.11).
9. 朱牟田善治, DX時代の空間情報 DX時代の空間情報 -電力ライフラインの課題-, GITA-JAPAN 第34回コンファレンス, DX時代のパネルディスカッション, GITA JAPAN (全国町村会館, 2023.12).
10. Y. Shumuta, Resilience of Electric Power System against Natural Disasters -Lesson from recent natural disasters in electric power systems, 広島大学特別講義 (広島, 2023.12).
11. 落合努, 横浜の地形から見る地域防災×デジタルファブリケーション (ファボラボみなとみらい, 2024.2).

12. 朱牟田善治, 大規模災害時における停電・ブラックアウトの発生可能性とその影響, 2023 年度後期ボウサイ連続講演会, 21 世紀の複合災害のもとで考える防災・減災 (神奈川大学みなとみらい, 2024.2).
13. 朱牟田善治, 能登半島地震における被害の特徴とその復旧 -電柱被害と建物被害の調査概要報告-, かながわの人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク, 関東大震災から令和 6 年能登半島地震まで, 自然災害に関する研究成果から学ぶ (東海大学, 2024.3).
14. 落合努, 能登半島地震における被害と地盤の特徴について, かながわの人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク, 関東大震災から令和6年能登半島地震まで, 自然災害に関する研究成果から学ぶ (東海大学, 2024.3).

## 助成金

1. 島崎和司(代表), 白井佑樹, 佐藤宏貴(分担), 鉄筋コンクリート柱部材の材端部拘束による曲げ・せん断挙動への影響に関する研究, 令和 3 年度科学研究費補助金, 基盤研究(B), 課題番号 21H01482.
2. 花里利一(代表), 白井佑樹(分担)他, 小樽歴史的木骨石造建造物の耐震調査, 2023 年度(第7回)松井角平記念財団研究助成.
3. 白井佑樹(代表), 鉄骨造体育館の柱脚とブレースを対象としたひずみ計測による損傷検知手法, 2023 年度日本鉄鋼連盟・鋼構造研究支援助成.
4. 白井佑樹(代表), 3 次元点群データを活用した鎌倉大仏の耐震安全性能評価, 2023 年度大林財団研究助成.
5. 島崎和司(代表), 花里利一, 内田青蔵, 野村和宣, 朱牟田善治, 大熊武司, 須崎文代, 白井佑樹, 落合努, 姜明采(共同), 文化遺産の保全・活用・防災に関する研究-指定文化遺産から未指定文化遺産まで-, 神奈川大学分野横断型研究推進事業.
6. 藤田正則(代表), 鋼構造のリユースを想定した部材の損傷評価に関する研究, 令和 4 年度科学研究費補助金, 基盤研究 B, 課題番号 22H01646.
7. 中村慎(代表), 小開口を有する RC 造方立壁の耐震診断・改修設計手法に関する研究, 令和 5 年度科学研究費補助金, 若手研究, 課題番号 23K13446.
8. 藤田正則(代表), 座屈拘束ブレースの実験, 奨学寄附金, インフォメディア(株).
9. 藤田正則(代表), 座屈拘束ブレースの実験, 奨学寄附金, 川金コアテック(株).
10. 朱牟田善治(代表), 建築構造物の劣化特性を把握するセンシング技術の開発, 2023 年度神奈川大学大学院工学研究科共同研究 A.
11. 落合努(代表), ハイブリッドな地盤構造推定法の精

度検証と豪雪地域への適用による被害軽減への試み, 令和 5 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K04034.

12. 落合努(分担), 表層地盤リスク把握による地震時の墓石転倒及び木造家屋被害に基づく震度推定値の検証, 令和 4 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K02117.
13. 落合努(代表), 地盤の 3 次元グリッドモデルの作成と防災への利活用に関する研究, 公益財団法人高橋産業研究財団, No.355.
14. 朱牟田善治(代表), 山家京子(分担), 他, アジア地域の災害軽減化と防災・減災ネットワーク構築に関する研究, 神奈川大学アジア研究所共同研究.

## 受託研究・共同研究

1. 島崎和司, 白井佑樹, 合成スラブ用デッキプレートにの蟻溝形状の解析的研究, JFE 建材.
2. 島崎和司, 白井佑樹, 木造耐久壁パネルの架構性能実験, 株式会社安藤・間.
3. 島崎和司, 白井佑樹, 耐震・制振機能を有する RC 造二次壁の研究, 株式会社岡部.
4. 島崎和司, 白井佑樹, 耐力壁の増設に頼らない伝統的な木造建築の新たな耐震補強工法の開発, 松井建設株式会社.
5. 藤田正則(代表), 3R配慮建築物のリユース検討(その 2), 共同研究, 大林組(株).
6. 藤田正則(代表), 座屈拘束ブレースにおけるクリアランス調整工法と局部破壊に関する研究, 共同研究, 大和ハウス工業(株).
7. 落合努, 他, 郡山市開成館の振動調査, 松井建設.
8. 落合努, 他, 常時微動を用いた地盤構造評価手法や適用性に関する検討, 防災科学技術研究所.

## 海外出張

1. 朱牟田善治, 落合努, 13th International Workshop on Seismic Microzoning and Risk Reduction 発表, Alicante, Spain (2023.11).
2. 朱牟田善治, 落合努, TDMRC (Tsunami and Disaster Mitigation Research Center) 現地調査と共同研究の打合せ, Aceh, Indonesia (2024.3).
3. 花里利一, 朱牟田善治, 落合努, National Technical University of Athens 現地調査と共同研究打合せ, Athene, Greece (2024.3).

## 褒賞

1. 朱牟田善治(他)(代表), 配電設備を対象とした早期電力復旧情報プラットフォーム RESI の開発と社会実装研究業績賞, 一般財団電力中央研究所 (2023.11).

## その他

1. 落合努, 白井佑樹, 小学校向け防災ワークショップを開催, 神奈川大学 HP (2023.9).
2. 朱牟田善治, 次世代に残したいという人の思いと地域レジリエアンス, 神奈川大学評論, 104, 203, 168 (2023.11).
3. 朱牟田善治, 災害時の復旧活動支援に期待 情報共有プラットフォーム本格運用へ, エネルギーフォーラム (2024.3).

## 建築学系 環境コース

### 研究分野紹介

#### 建築環境工学研究室

(岩本静男 教授, 藤本遼 助手)

室内外気流の数値解析に関する研究, 温冷感指標に関する研究, 空調室内の温熱・空気環境に関する研究, 建築設備における省エネルギー・地球環境負荷削減に関する研究, 室内外温熱環境における着衣の影響に関する研究

#### 音・光環境研究室

(安田洋介 教授, 森長誠 助教)

音環境設計のための汎用的な音響数値シミュレーション手法の開発, 室内音場予測, 騒音伝搬対策, 建築部材の音響特性の把握・モデル化, 床衝撃音低減機構の開発, 都市騒音の予測・制御, 音響心理実験, 環境騒音に対する社会調査, 音環境・視環境・複合環境の評価など

#### 建築環境・設備研究室

(芹川真緒 准教授, 吉浦温雅 助教)

建築環境・設備分野に関する研究を行っている。特に, 住宅の温熱環境や省エネルギーを中心に扱い, 住宅の室温やエネルギー消費量のシミュレーション, 温熱環境の評価, 省エネルギー方策の提案等を実施している

## 研究論文 I(レフェリー付き論文)

(欧文誌)

1. T. Masumoto, M. Mori, Y. Yasuda, N. Inoue and T. Sakuma, Fast multipole boundary element method for aerodynamic sound field analysis based on Lighthill's equation, Journal of Theoretical and Computational Acoustics, 31 (3), 2350009 (2023.9).
2. M. Morinaga, J. Mori and I. Yamamoto, Aircraft model identification using convolutional neural network trained by those noises in a wide area around an airfield, Acoustical Science and Technology, 44 (2), 131-136 (2023).
3. T. T. H. N. Nguyen, B. L. Trieu, T. L. Nguyen, M. Moringa, Y. Hiraguri, T. Morihara, Y. Sasazawa, T. Q. H. Nguyen and Takashi Yano, Models of Aviation Noise Impact in the Context of Operation Decrease at Tan Son Nhat Airport, International Journal of Environmental Research and Public Health, 20 (8), 5450 (2023).
4. T. L. Nguyen and M. Morinaga, Effect of roadside trees on pedestrians' psychological evaluation of traffic noise, Frontiers in Psychology, 14 (2023).
5. T. L. Nguyen, K. Nagahata, M. Morinaga and H. Ma, Cross-cultural comparison of soundscape evaluation between Japanese and Vietnamese using standardized attributes, Applied Acoustics, 213, 109627 (2023).

(和文誌)

1. 古味由惟, 横島潤紀, 森長誠, 辻村壮平, 山内勝也, 白橋良宏, 山崎徹, 住宅種別ごとの道路交通騒音に対する住民反応への曝露量と非音響要因の影響, 自動車技術会論文集, 54 (5), 880-886 (2023).
2. 芹川真緒, 潜熱蓄熱材が導入された住宅の室温日較差の簡易的な予測方法の提案, 日本建築学会技術報告集, 29(72), 858-863(2023).
3. 芹川真緒, 辻丸のりえ, 佐藤誠, 住吉大輔, 宮田征門, 柳原隆司, 温暖地におけるビル用マルチエアコンの稼働実態調査, 空気調和・衛生工学会論文集, 319, 33-40 (2023).
4. 芹川真緒, 吉浦温雅, 近年の生活の変化を踏まえた関東地方の築浅物件における家電・住宅設備の使用実態調査, 日本建築学会技術報告集, 30 (74), 245-250 (2024).

## 研究論文 II(レフェリー付き Proceedings)

1. S. Iwamoto, R. Fujimoto, K. Sakaue, T. Mitsunaga, Study on simulation of building drainage systems by CFD, Part 1 Verification based on existing experimental results, the Proceedings of CIB-W062 Symposium

- (Leuven, Belgium, 2023.8).
2. T. Masumoto, M. Mori, Y. Yasuda, N. Inoue and T. Sakuma, Wideband fast multipole boundary element method for flow-induced noise analysis based on Lighthill's equation, Proc. Inter-Noise 2023, 1374-1384 (Chiba, 2023.8).
  3. Y. Yasuda, S. Nishimura, Y. Kamiya and M. Morinaga, Effect of embankment slope on road traffic noise propagation: numerical investigation and construction of correction formula for difference by slope angle, Proc. Inter-Noise 2023, 1519-1528 (Chiba, 2023. 8). [invited]
  4. R. Hagiwara, T. Sakuma, Y. Yasuda and T. Masumoto, Determination of sound-field diffusion indices based on FMBEM incidence directivity analysis, Proc. Inter-Noise 2023, 3162-3168 (Chiba, 2023.8).
  5. S. Hyodo, Y. Yamashita, M. Kobayashi, M. Morinaga and Y. Yasuda, Development of a dry-type double floor with high vibration isolation for improvement of floor impact sound insulation performance on CLT buildings, Proc. Inter-Noise 2023, 4738-4747 (Chiba, 2023.8). [invited]
  6. T. Morihara, Y. Murakami, K. Shimoyama, M. Morinaga, S. Yokoshima, S. Tsujimura, Y. Hiraguri and T. Yano, Effects of step changes in railway noise exposure and earthquakes on sleep disturbance, Proc. Inter-Noise 2023, 322-331 (Chiba, 2023.8).
  7. M. Morinaga, T. Kobayashi, K. Hanaka, K. Shimoyama, T. Nakazawa and N. Shinohara, A laboratory experiment on subjective evaluation of the sound quality of aircraft noise, Proc. Inter-Noise 2023, 3943-3950 (Chiba, 2023.8). [invited]
  8. Y. Koyama, J. Toyotani, M. Morinaga, H. Lee and Y. Shimizu, On a recording method for ambient sounds with a confidential speech, Proc. Inter-Noise 2023, 4163-4167 (Chiba, 2023.8).
  9. B. L. Trieu, T. T. Hong, N. Nguyen, T. L. Nguyen, M. Morinaga, T. Morihara, Y. Hiraguri, T. Yano, Y. Sasazawa, Q. V. Tran, D. T. Bui, H. H. Tran, T. N. D. Nguye, P. Nguye and T. Do, Preliminary survey on the effects of indoor noise in the hospital located close to Tan Son Nhat Airport, Proc. Inter-Noise 2023, 5738-5748 (Chiba, 2023.8).
  10. T. L. Nguyen, T. T. Hong, N. Nguyen, B. L. Trieu, M. Morinaga, T. Morihara, Y. Hiraguri, T. Yano and Y. Sasazawa, A study examining the long-term effects of aircraft noise on the surrounding residents before the opening of Long Thanh Airport, Proc. Inter-Noise 2023, 6077-6087 (Chiba, 2023.8).
  11. N. Shinohara, K. Shimoyama, T. Nakazawa, M. Morinaga, T. Kobayashi and K. Hanaka, Pilot study on evaluation indices for aircraft noise considering sound quality, Proc. Inter-Noise 2023, 6469-6476 (Chiba, 2023.8). [invited]
  12. 古味由惟, 横島潤紀, 森長誠, 辻村壮平, 山内勝也, 白橋良宏, 山崎徹, 住宅種別ごとの道路交通騒音に対する住民反応への曝露量と非音響要因の影響, 自動車技術会論文集, 54 (5), 880-886 (2023.9).
  13. A. Yoshiura, M. Serikawa, Assessing the Heat-shielding Effect of Double Roofing with Air Passage, 20th International Symposium and Conference of Asia Institute of Urban (Seoul, 2023.11).

## 口頭発表

1. 藤本遼, 岩本静男, CFD 解析による大規模講義室内の温熱環境評価 その 4 JOS-2 モデルを用いた非常解析, 第 47 回人間生活・環境系シンポジウム(福岡), 35-38 (2023.11).
2. 五十嵐希美, 傳法谷郁乃, 岩本静男, 藤本遼, CFD 解析を用いたファン付き作業服に関する基礎的研究, 第 47 回人間生活・環境系シンポジウム(福岡), 51-54 (2023.11).
3. 福島歩実, 傳法谷郁乃, 岩本静男, 藤本遼, 染谷俊介, 杉山拓真, 藤崎幸市郎, 栗原浩平, 建設作業員の熱中症対策に関する研究 (その 6) ファン付き作業服着用時におけるフルハーネスの装着方法が生理・心理反応に及ぼす影響, 第 47 回人間生活・環境系シンポジウム(福岡), 55-56 (2023.11).
4. 萩原諒, 佐久間哲哉, 安田洋介, [選抜梗概] FMBEM 入射指向性解析に基づく室内音場の拡散性評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 211-214 (京都, 2023.7).
5. 兵藤伸也, 山下祐, 小林真人, 森長誠, 安田洋介, CLT 建築物の床衝撃音遮断性能向上のための乾式二重床の開発, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 337-338 (京都, 2023.7).
6. 福島昭則, 安田洋介, 坂本慎一, エネルギー相補性を仮定した鏡面反射予測モデル, 日本音響学会講演論文集(秋季), 503-506 (名古屋, 2023.9).
7. 兵藤伸也, 山下祐, 小林真人, 森長誠, 安田洋介, 箱型モデルを用いた CLT 建築物の床衝撃音に関する研究 —乾式二重床の設置が床スラブと壁面の振動特性に及ぼす影響—, 日本音響学会講演論文集(秋季), 611-614 (名古屋, 2023.9).
8. 萩原諒, 佐久間哲哉, 安田洋介, 榎本貴之, FMBEM 入射指向性解析に基づく拡散性指標のオクターブバンド分析, 日本音響学会講演論文集(秋季), 763-764 (名古屋, 2023.9).
9. 兵藤伸也, 山下祐, 小林真人, 森長誠, 安田洋介,

- CLT 建築物の床衝撃音対策に関する研究 —乾式二重床の設置が床スラブと壁面の振動特性に及ぼす影響—, 日本音響学会建築音響研究会資料, AA2023-27 (オンライン, 2023.9).
10. 西野健太郎, 横島潤紀, 森淳一, 森長誠, 山元一平, 魚眼レンズを搭載したカメラを用いた航空機飛行経路把握法の確立, 日本音響学会騒音・振動研究会資料, N2023-35 (横浜, 2023.8).
  11. 小泊楓奈, 森淳一, 森長誠, 山元一平, 花香和之, 川瀬康彰, 航空機騒音の AI 識別:過去の研究と今後の課題, 日本音響学会騒音・振動研究会資料, N2023-36 (横浜, 2023.8).
  12. 森長誠, 横島潤紀, 小林知尋, 横山栄, 牧野康一, 土肥哲也, 山崎徹, 低周波音による圧迫感・振動感の閾値に関する研究, 日本音響学会騒音・振動研究会資料, N2023-41 (横浜, 2023.8).
  13. 小泊楓奈, 森淳一, 森長誠, 土屋健伸, 山元一平, 花香和之, 川瀬康彰, 航空機騒音の AI 識別:CNN を用いた地上騒音と飛行騒音の分類, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 481-484 (名古屋, 2023.9).
  14. 小松史弥, 土屋健伸, 森淳一, 森長誠, 横島潤紀, 西野健太郎, 山元一平, 魚眼カメラを搭載した IoT システムによる航空機測位の計測精度, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 491-494 (名古屋, 2023.9).
  15. 横島潤紀, 森長誠, 牧野康一, 土肥哲也, 横山栄, 小林知尋, 山崎徹, 低周波数成分を含む交通騒音の主観評価・その 1 —圧迫感・振動感及びイベント回数の影響—, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 553-556 (名古屋, 2023.9).
  16. 森長誠, 横島潤紀, 小林知尋, 横山栄, 牧野康一, 土肥哲也, 山崎徹, 低周波数成分を含む交通騒音の主観評価・その 2 —低周波数成分による「気になる」印象の違い—, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 557-560 (名古屋, 2023.9).
  17. 古味由惟, 横島潤紀, 森長誠, 須田直樹, 梅崎良樹, 山崎徹, 居住者視点に基づく調査票による社会反応の基礎検討, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 573-574 (名古屋, 2023.9).
  18. 西井朋也, 森淳一, 森長誠, 加振信号を用いた CNN による外壁タイルの健全性評価, 日本音響学会講演論文集 (秋季), 791-792 (名古屋, 2023.9).
  19. 一木智之, 福島昭則, 安田洋介, 最短経路と交差経路による回折計算値の差異について, 日本音響学会騒音・振動研究会資料, N-2024-03 (神戸, オンライン併用, 2024.1).
  20. 萩原諒, 榎本貴之, 安田洋介, 佐久間哲哉, FMBEM 入射指向性解析に基づく不整形残響室の拡散性評価, 日本音響学会講演論文集 (春季), 441-442 (東京, 2024.3).
  21. 岡田恭明, 安田洋介, 坂本慎一, 一木智之, 穴井謙, 山内勝也, 道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2023”—2023 年版モデルの概要—, 日本音響学会講演論文集 (春季), 1197-1200 (東京, 2024.3).
  22. 安田洋介, 一木智之, 福島昭則, 坂本慎一, 横田考俊, 道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2023”—伝搬計算方法—, 日本音響学会講演論文集 (春季), 1203-1206 (東京, 2024.3).
  23. 野澤文珠香, 季思雨, 谷口景一朗, 岸本尚子, 芹川真緒, 佐藤誠, 高瀬幸造, 前真之, 井上隆, 実大実験棟を用いたダイレクトゲイン手法の設計法に関する研究 —PCM 敷設と蓄熱用ヒーターを用いた吸熱量に関する検証—, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (近畿), 969-970 (京都, 2023.7).
  24. 池本和大, 山本正顕, 佐藤誠, 辻丸のりえ, 芹川真緒, ZEH-M 実績調査に関する研究 季節別アンケートによる ZEH-M 導入効果検証 (その 2), 日本建築学会大会学術講演梗概集 (近畿), 1131-1132 (京都, 2023.7).
  25. 芹川真緒, 海塩渉, 中野淳太, 秋元孝之, 伊香賀俊治, 村上周三, SDGs を踏まえたスマートウェルネス住宅の評価に関する研究 その 3 高い断熱性能を有する住宅に関するケーススタディ, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (近畿), 2403-2404 (京都, 2023.7).
  26. 池本和大, 山本正顕, 佐藤誠, 辻丸のりえ, 芹川真緒, ZEH-M Oriented における導入効果検証 (第 1 報) 調査概要及び年間アンケート調査結果, 空気調和・衛生工学会大会 (福井, 2023.9).
  27. 池本和大, 山本正顕, 佐藤誠, 辻丸のりえ, 芹川真緒, ZEH-M Oriented における導入効果検証 (第 2 報) 年間エネルギー消費量の分析, 空気調和・衛生工学会大会 (福井, 2023.9).
  28. 渡邊陽介, 長谷川巖, 飯田玲香, 佐藤誠, 芹川真緒, 村上周三, 外皮・躯体と設備・機器の総合エネルギーシミュレーションツール「BEST」の開発 (その 270) BEST-H (住宅環境・健康評価ツール) の概要・機能, 空気調和・衛生工学会大会 (福井, 2023.9).
  29. 芹川真緒, 吉浦温雅, 住宅の室温・熱負荷計算の結果に影響を与える要因に関する研究 住宅内の建具の開閉状況の把握と影響度の調査, 空気調和・衛生工学会大会 (福井, 2023.9).

## 学術誌

1. 笹澤吉明, 森長誠, T. L. Nguyen, 騒音環境が及ぼす睡眠, 心身への影響 —快眠のための騒音への対策—, 睡眠と環境, 17 (1), 15-24 (2023).
2. 小林真人, 兵藤伸也, 安田洋介, 箱型モデルを用い

た CLT 造の重量床衝撃音に関する検討, 音響技術, 52 (4), 70-73 (2023).

3. 安田洋介, 古賀貴士, 建築音響入門のための文献 20 選, 騒音制御, 47 (6), 254-259 (2023).

## 調査報告書

1. 安田洋介 (分担), 高速道路総合技術研究所, 日本音響学会, 令和 4 年度 道路交通騒音の予測精度向上に関する研究 報告書 (2023.4).

## 講演・展示会

1. 芹川真緒, 実機の挙動や部分負荷特性, 住宅・建築 SDGs 推進センター, シンポジウム「非住宅建築物の熱源機器容量設計手法の再考～事例と研究からみた課題と対策～」(東京, 2023.11).

## 助成金

1. 岩本静男, 傳法谷郁乃, 多様化する給湯用熱源の一次エネルギー消費量算定, 令和 2 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 20K04817.
2. 小山由美, 豊谷純, 森長誠 (分担), 医療施設における環境音の新規測定技術の安全精度と有効性の検証, 令和 3 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 21K10288.
3. 森長誠 (代表), 横島潤紀, 山崎徹, 低周波数成分を含む環境騒音の評価指標の確立, 令和 4 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 22K04437.
4. 山崎徹, 森長誠, 安田洋介 (分担), 栗原海, 横島潤紀, 白橋良宏, 須田直樹, 道路交通騒音の長期曝露による影響評価のための縦断的調査手法の開発, 2022 年度神奈川大学分野横断型研究推進事業助成金.
5. 森淳一, 朝倉巧, 森長誠 (分担), 辻村壮平, 先端環境観測技術を応用した長期音響暴露反応に基づく動物の行動管理法の構築, 令和 5 年度科学研究費補助金, 挑戦的研究 (萌芽), 課題番号 23K17778.

## 受託研究

1. 岩本静男, ヒートポンプ給湯機の部分負荷運転時の一次エネルギー消費量の評価法, (一社)日本サステナブル建築協会.
2. 安田洋介, 木造建築物の遮音性能向上のための検討,

飛島建設.

3. 森長誠, 航空機騒音の音質評価に関する研究, (公財)防衛基盤整備協会.
4. 森長誠, 航空機騒音の音質評価に関する研究, (一財)空港振興・環境整備支援機構.
5. 芹川真緒, 戸建住宅の外皮性能や導入設備の違いによる光熱費影響, 旭化成ホームズ.
6. 芹川真緒, SDGs 達成に資するスマートウェルネス住宅の設計支援ツール開発に係る検討, 日本サステナブル建築協会.
7. 芹川真緒, ZEH 住宅のエネルギー利用実態の把握, 共同研究, 旭化成ホームズ.

## 海外出張

1. 吉浦温雅, 20th International Symposium and Conference of Asia Institute of Urban, Seoul, South Korea (2023.11).

## その他

1. 芹川真緒, 住宅の温熱環境とエネルギー性能の評価, IBECs 機関誌, 248, Vol.44-3 (2023.12).

## 建築学系・都市生活学系 デザインコース

### 都市生活学系 住生活創造コース

### 都市生活学系 まち再生コース

## 研究分野紹介

### 建築史研究室

(松隈洋 教授, 姜明采 助教)

モダニズム建築の歴史や, 先駆者となった建築家の思想と設計方法論に関する研究

### 建築史研究室

(内田青蔵 教授)

日本の明治以降, 欧米の影響を受けて建築はさまざま変化してきた. そうした変容の過程を様々な角度から分析している

### 建築・都市デザイン研究室

(曾我部昌史 教授, 吉岡寛之 助教)

徳島県美波町における門前町再生支援, 旧回船問屋「谷屋」の保存再生と活用, 日和佐港周辺まちづくり, 愛媛県大三島における島づくりなど, 具体的な地域に関わりな



がら、建築設計やまちづくりをテーマとした実践的研究に取り組む

## 建築計画研究室

(中井邦夫 教授, 鈴木成也 助手)

戦後復興期の防火建築帯に関する研究, 近現代の都市建築類型に関する研究, 都市の水辺空間の構成に関する研究, 都市のスポーツ空間に関する研究, 建築意匠論に関する研究, 建築設計に関する実践的研究など

## 建築デザイン研究室

(六角美瑠 教授)

建築をとりまく環境と空間の関係を読み解き, 設計デザインへの応用を考察し, 研究している。家具や住宅建築, また町や施設と関わる具体的なプロジェクトまで幅広い活動を通じて, 設計手法の研究を行っている

## 住宅デザイン研究室

(鈴木信弘 教授, 菊井悠央 助手)

住宅のデザイン, 設計手法, モジュールの研究, 住宅地の開発, 温熱設計と断熱気密施工法の開発

## 生活デザイン史研究室

(須崎文代 准教授, 印牧岳彦 助教)

住宅史, 近代建築史, 循環型の生活環境デザインに関する研究

## 居住環境デザイン研究室

(立花美緒 准教授)

住宅, 集合住宅, 集落, 教育環境, 家具, インテリア等をテーマに, 豊かな暮らしと地域社会の関係について, 建築設計と建築計画の観点から研究し, 実践的に提案している

## 都市計画研究室

(山家京子 教授, 柏原沙織 助教)

人口縮小時代の都市ビジョンの構築, コミュニティ支援ツールの作成, 地域資源を活かしたまちづくりの検討及び実践, 郊外住宅地の持続可能性に関する調査研究

## 建築保存活用研究室

(野村和宣 教授, 塩脇祥 助手)

都市・集落や建築の歴史的価値を明らかにし, その価値を継承しつつ新たな時代の要求に応じた機能更新を図った保存活用手法に関する研究。また, 歴史的価値を記録しアーカイブスとして発信する手法に関する研究

## 不動産デザイン研究室

(高橋寿太郎 教授)

「建築学と不動産学の融合」を理念とし, 建築設計に加えて, 建築やリノベーションプロジェクトの成立条件(不動産・マーケティング・ファイナンス)を考える「建築企画」や「プロデュース」を積極的に研究する

## まちづくり研究室

(上野正也 准教授)

創造性を活かした地域づくり, エリアマネジメント, 公共

空間利活用をはじめとして, 都市政策から具体的な空間づくりまで実践的な研究を行っている

## 研究論文 I(レフェリー付き論文)

(和文誌)

1. 茶谷亜矢, 内田青蔵, 姜明采, 建築家・渡辺栄治の経歴と建築作品について, 日本建築学会計画系論文集, 88(806), 1432-1437 (2023.4).
2. 内田青蔵, 住宅地の中の神奈川大学の誕生—神奈川大学(横浜専門学校)の立地する六角橋周辺の住宅地化の動きについて—, 神奈川大学史紀要, 9, 28-58 (2024.3).
3. 吉岡寛之, 佐藤慎也, 大川碧望, 公立美術館におけるボランティア活動に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 88(813), 2876-2886 (2023.11).
4. 鈴木亮太, 鈴木伸治, 上野正也, 横浜都心部における創造産業の集積に関する研究—関内・関外地区におけるアーティスト・クリエイターの動向から, 日本都市計画学会都市計画論文集, 58 (1), 101-109 (2023.4).

## 研究論文 II(レフェリー付き Proceedings)

1. Saori KASHIHARA, Kyoko YAMAGA and Masaya UENO, Activities of Neighborhood Association and Evaluation of Residential Environment in Suburban Area of Yokohama, Proceedings of 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, 1219-1236 (ダナン, 2023.8).

## 建築作品

1. 曾我部昌史, 加茂紀和子, 竹内昌義, マニユエル・タルディッツ, I-TOWN A・B 街区(黒部市), 新建築, 180-181, 新建築社 (2023.8).
2. 曾我部昌史, 加茂紀和子, 竹内昌義, マニユエル・タルディッツ, 黒石市図書館, 近代建築, 176-178, 近代建築社 (2023.9).
3. 建築科学研究所(設計監理), 神奈川大学中井研究室(中井邦夫, 鈴木成也ほか, 基本設計協力), 魚津市本江地域交流センター, 富山県魚津市 (2023.8).
4. 神奈川大学中井研究室(中井邦夫, 鈴木成也), ノーデザイン(小倉亮子), 南浦和つながりクリニック内装デザイン, 埼玉県さいたま市 (2023.8).
5. 六角美瑠, 住宅「桜観荘」, 東京都杉並区, 略 (2023.4 竣工).
6. 鈴木信弘, フルハウス(千葉・一宮邸) (2023.6).

7. 鈴木信弘, 家族と外に憧れる猫と暮らす家(三鷹市・掛札邸) (2023.9).
8. 鈴木信弘, 続篠原東の家(横浜市・武藤邸) (2023.5).
9. 渡邊明弘建築設計事務所, オクムラデザイン, キーマン, SOM 事務所, 創造系不動産, 『神田神保町武田ビル再生』の内「建主の事業目的を捉えなおす」, 新建築, 94, 新建築社 (2023.8).

## 口頭発表

1. 茶谷亜矢, 内田青蔵, 姜明采, 明治期の旧前田家鎌倉別邸に関する研究 -前田育徳会近代史料からの考察(1)-, 日本生活学会第 50 回研究発表大会, 44-45 (横浜, 2023.6).
2. 姜明采, 内田青蔵, 戦前期における山中湖畔の別荘建築について -『別荘建築の志を里』からみる富士山麓土地株式会社の理想的な別荘建築-, 日本生活学会第 50 回研究発表大会, 46-47 (横浜, 2023.6).
3. 池田直也, 内田青蔵, 姜明采, 行幸が行われた和洋館並列形住宅の使用法について -明治 25 年 7 月 9 日に行幸を迎えた鍋島直大邸を対象に-, 日本生活学会第 50 回研究発表大会, 50-51 (横浜, 2023.6).
4. 池田直也, 内田青蔵, 姜明采, 明治天皇の上流層の私邸に対する行幸時における和館の使用法について 明治 8 年行幸の池田輝知邸・徳川慶勝邸を事例として, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 283-284 (京都, 2023.7).
5. 茶谷亜矢, 内田青蔵, 姜明采, 渡辺栄治設計の旧前田家世子邸について -前田育徳会近代史料からの考察(2)-, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 295-296 (京都, 2023.7).
6. 野々村明佳里, 内田青蔵, 姜明采, 同潤会の分譲住宅事業における敷地境界の特徴について, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 303-304 (京都, 2023.9).
7. 姜明采, 内田青蔵, 戦前期における横浜市隣保館について, 日本建築学会学術講演梗概集(近畿), 343-344 (京都, 2023.7).
8. 内田青蔵, 姜明采, 茶谷亜矢, 前田家の戦前期の「鎌倉貸家絵図」について, 日本生活文化史学会令和 5 年度大会, 1-2 (横浜, 2023.10).
9. 姜明采, 内田青蔵, 建築家・西村伊作が描いたユートピア -大正期の理想郷「一匡邑」の設立過程を中心に(その 1)-, 韓国建築歴史学会秋季学術発表大会, 571-574 (韓国, 2023.11).
10. 黄献根, 中井邦夫, 鈴木成也, 伊藤伸一郎, 増改築された住宅作品における室の接続からみた構成の再編手法, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 9258 (京都, 2023.7).
11. 小澤美月, 中井邦夫, 鈴木成也, 内外の繋がりから見た現代日本のキリスト教会の開放性, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 9334 (京都, 2023.7).
12. 工藤竜久, 中井邦夫, 鈴木成也, 横須賀市中心地域の谷戸地形における造成地の構成, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 9364 (2023.7).
13. 富田響真, 丸山創也, 中井邦夫, 鈴木成也, 建物の用途や分布の移り変わりからみた川崎市池上町の変遷と現状, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 9365 (京都, 2023.7).
14. 池原なつ子, 中澤実那, 中井邦夫, 鈴木成也, 建物高さと壁面要素に着目した東京銀座の路地空間の構成, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 9370 (京都, 2023.7).
15. 工藤大輝, 須崎文代, 印牧岳彦, 明治～大正期の横浜における「避病院」の成立と変遷, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 107-108 (京都, 2023.7).
16. 水野僚子, 印牧岳彦, 須崎文代, 田中和幸, 泉水英計, 姜明采, 内田青蔵, 英国のセツルメント運動に関する建築学的研究 (1)トインビー・ホールの建築的特徴とその評価について, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 229-230 (京都, 2023.7).
17. 印牧岳彦, 水野僚子, 須崎文代, 田中和幸, 泉水英計, 姜明采, 内田青蔵, 英国のセツルメント運動に関する建築学的研究 (2)建築家 Elijah Hoole の活動について, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 231-232 (京都, 2023.7).
18. 須崎文代, 印牧岳彦, 水野僚子, 田中和幸, 泉水英計, 姜明采, 内田青蔵, 英国のセツルメント運動に関する建築学的研究 (3)日本国内におけるトインビー・ホールの理念の受容について, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 233-234 (京都, 2023.9).
19. 井口力哉, 須崎文代, 印牧岳彦, セツルメントハウスにおける共同キッチンの史的研究—その1 ハル・ハウスのコーヒーハウスに着目して, 日本生活文化史学会令和 5 年度大会 (横浜, 2023.10).
20. 横山優莉菜, 山家京子, 上野正也, 関係人口からみた地域づくりに関する研究-その 1: 千葉県いすみ市における民間組織の取組みと活用施設, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1239-1240 (京都, 2023.7).
21. 柏原沙織, 濱田愛, 東京都中央区日本橋横山町問屋街における 1958～1983 年の業種の変遷 -都市部同業者集積空間の景観に関する研究 その 4-, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 233-236 (京都, 2023.7).
22. 野村和宣, 丸ノ内オフィス街における戦時体制下の木造建築について～丸ノ内オフィス街開発の空間形成の研究～, 日本建築学会学術講演梗概集(近畿),

337-338 (京都, 2023.7).

## 学術誌

1. 内田青蔵, 歴史的ツーバーフォー建築物を訪ねて—明治～昭和初期 第 6 回 クラーク博士が持ち込んだバルーン・フレーム構法, 一般社団法人日本ツーバーフォー建築協会雑誌 ツーバイフォー, 237, 2-3 (2023.4).
2. 内田青蔵, 歴史的ツーバーフォー建築物を訪ねて—明治～昭和初期 第7回 学園都市に持ち込まれたアメリカ製組立住宅, 一般社団法人日本ツーバーフォー建築協会雑誌 ツーバイフォー, 238, 6-7 (2023.7).
3. 内田青蔵, 関東大震災直後に建てられたアメリカ製組立住宅, ツーバイフォー, 239, 14-15 (2023.10).
4. 内田青蔵, アメリカの新構法の影響を受けた旧宣教師館, 一般社団法人日本ツーバーフォー建築協会雑誌 ツーバイフォー, 240, 12-13 (2024.1).
5. 姜明采, 東京都復興記念館の展示リニューアル及び同潤会に関する特別展の実施について, 非文字資料研究センター News Letter, 51, 2-3 (2024.3).
6. 曾我部昌史, 加茂紀和子, 竹内昌義, マニュエル・タルディッツ, 木の屋根架構—八代保育園, ディテール, 237, 29 (2023.7).
7. 西堀隆史, 曾我部昌史, ウランバートルにおける住空間の 一室空間指向についての一考察 —ゲル地区の住居から民主化後の住居に至る変遷のなかから—, 神奈川大学アジア・レビュー, 11, 29-52 (2024.3).
8. 須崎文代, 論考: 変貌する火廻り・水廻り空間, 住宅建築, 498, 88-93 (2023.4).
9. 須崎文代, 台所史探訪(第 4 回) 効率化の波が家事に及ぶ, Vesta=食文化誌ヴェスタ, 130, 68-73 (2023.4).
10. 須崎文代, 台所史探訪(第 5 回) 明治期における台所合理化のはじまり, Vesta=食文化誌ヴェスタ, 131, 64-69 (2023.7).
11. 須崎文代, 食空間のこれまでとこれから, 住総研, すまいろん(113), 26-29 (2023.8).
12. 須崎文代, 台所史探訪(第6回) 米国式台所の導入: 教育者・櫻井ちか子による紹介を契機として, Vesta=食文化誌ヴェスタ, 132, 72-77 (2023.10).
13. 須崎文代, 明治・大正・昭和初期の検定済高等女学校用家事教科書にみる日本の台所の近代化, 家具道具室内史: 家具道具室内史学会誌, 15, 24-35 (2023.12).
14. 印牧岳彦, 非人間主義の建築: 群馬県立近代美術館 1974[群馬県高崎市], 建築ジャーナル, 1349, 27-29 (2023.12).
15. 須崎文代, 台所史探訪(第 7 回) 大正時代の台所と生活改善運動, Vesta=食文化誌ヴェスタ, 133, 66-69

(2024.1).

16. 印牧岳彦, 協同と創造の論理: 磯崎新とビューロクラシーの問い, 思想, 1197, 83-95 (2024.1).
17. 須崎文代, 基幹共同研究「常民生活誌に関する総合的研究」便所の歴史・民俗に関する総合的研究 活動報告, 神奈川大学日本常民文化研究所 年報 2022, 18-19 (2024.2).

## 著書

1. 内田青蔵研究室, これまでのあゆみ, 内田青蔵研究室編, 私家版 (2023).
2. 内田青蔵, 姜明采(分担執筆), 同潤会がめざした理想的な住まいと住環境 -新しい都市と郊外の暮らし-, 2, 7-26, (公財)東京都慰霊協会 (2023).
3. 姜明采(分担執筆), 関東大震災 100 年特別展『首都東京の復興ものがたり -未来へ繋ぐ 100 年の記憶-, 94-97, 106-109, 千代田区教育委員会 (2023).
4. 内田青蔵, 「あめりか屋」に関する補遺 -「あめりか屋」創設者橋口信助とその周囲の人々について-, あめりか屋 HISTORY 100 年の道のり, 93-149, 株式会社あめりか屋 (2023).
5. 内田青蔵, 日本の美しい洋館, X-Knowledge (2023).
6. 内田青蔵, 住まいの建築史, 創文社 (2023).
7. 鈴木信弘(編著), 戸高太郎, 岸野浩太, 鈴木利美, 住宅の設計(初学者の建築講座), 市ヶ谷出版 (2023).
8. 印牧岳彦, SSA:緊急事態下の建築ユートピア, 鹿島出版会 (2023).
9. カトリーヌ・クラリス著, 須崎文代訳, キュイジーヌ: フランスの台所近代史, 鹿島出版会 (2024).
10. ハリー・F・マルグレイヴ著, 川添善行監訳, 印牧岳彦他訳, EXPERIENCE: 生命科学が変える建築のデザイン, 鹿島出版会 (2024).
11. 立花美緒(監修), 最高の建物と街を描く技術, 128-133, エクスナレッジ (2023).
12. 立花美緒(分担執筆), 日本建築学会編, 第 4 版コンパクト建築設計資料集成, 丸善出版 (2024).

## 調査報告書

1. 中井邦夫, 池原なつ子, 簾内俊希, 長谷川舞, オイン・シャンゲン(翻訳), BA/横浜防火帯建築研究 30, (BA 叢書 01)類型学について(原著者:ラファエル・モネオ), BA 編集部(神奈川大学中井研究室内)(2023).
2. 立花美緒, 自ら学び共に学ぶ環境とデンマーク等のコモンコア(内部広場)を内包する学校建築, 「創造的な学習空間の創出に関する調査研究」報告書, 129-134

(2023).

3. 山家京子, 上野正也, 柏原沙織, 横浜市栄区湘南桂台地区「お住まいのまちについての住民意識調査」報告書 (2023).
4. 柏原沙織・濱田愛, 国土地理協会学術研究助成成果報告書: 都市部同業者集積空間の文化的景観に関する研究—東京都中央区日本橋横山町・馬喰町の間屋街地区に着目して—, 第 21 回学術研究助成 (2024).

## 講演・展示会

1. 松隈洋, 東衛舎資料館(仮称)開館記念トークイベント「リノベーションの名手 村野藤吾について〜旧赤坂離宮から迎賓館への転換〜」, 迎賓館赤坂離宮 (東京, 2023.5).
2. 松隈洋, シンポジウム「鬼頭梓の建築から考える図書館の未来像」基調講演「「生活の根拠地」としての図書館を求めて—鬼頭梓の見つめていたこと」, 京都工芸繊維大学 (京都, 2023.6).
3. 松隈洋, とびらプロジェクト建築実践講座第 1 回「都美の建築と歴史—東京都美術館に生きる, 前川建築の3つのキーワード」, 東京都美術館 (東京, 2023.7).
4. 松隈洋, 国立西洋美術館ボランティア(第6期) 候補者養成研修における 講義「ル・コルビュジエと近代建築について」, 国立西洋美術館 (東京, 2023.8).
5. 松隈洋, 近代建築概要, 特定非営利活動法人香川歴史的建造物保存活用会議主催, 香川文化遺産保存活用技術者養成講座 (zoom, 2023.10).
6. 松隈洋, 山口県立山口図書館と建築家・鬼頭 梓, 山口県立山口図書館主催, 山口県立山口図書館開設 120 周年・建築 50 周年記念「見る・聴く・考える山口県の図書館」建築講演会 (山口, 2023.11).
7. 松隈洋, モダニズム建築の意味と現代建築の課題, 愛知県建築士会主催, あいちヘリテージマネージャー養成講座 (名古屋, 2023.11).
8. 松隈洋, 第 45 回歴史を生かしたまちづくりセミナー基調講演『戦後建築の魅力』, 公益社団法人 横浜歴史資産調査会主催 (zoom, 2023.12).
9. 松隈洋, 大江宏と学校建築, 慶應義塾大学アート・センター主催 (東京, 2023.12).
10. 松隈洋, JIA トーク未完としてのモダニズム建築—記憶すること, 伝えることの先に, 公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 JIA トーク実行委員会主催 (東京, 2024.1).
11. 内田青蔵, 和室とは何か? -それは未来に失われてしまうのか? -, 日本建築学会主催, パネルディスカッション・モデレーター, 建築会館ホール (東京, 2023.4).
12. 内田青蔵, エコールプチピエ銀座・講座, 旧渡辺甚吉邸の文化財的価値について (東京, 2023.4).
13. 内田青蔵, 自由学園講座, 旧渡辺甚吉邸見学会, (茨城, 2023.5).
14. 内田青蔵, 日本生活学会創立 50 周年記念渡辺甚吉邸特別見学会 (茨城, 2023.6).
15. 内田青蔵, 山本有三邸ガイドボランティア講座 1, 三鷹ネットワーク大学 (東京, 2023.6).
16. 内田青蔵, 山本有三邸ガイドボランティア講座 2, 三鷹ネットワーク大学 (東京, 2023.7).
17. 内田青蔵, パネルディスカッション・モデレーター, 和室とは何か? -それは未来に失われてしまうのか? -, 日本建築学会主催, キャンパスプラザ京都 (京都, 2023.7).
18. 内田青蔵, 軽井沢町制施行 100 周年記念講演, 別荘開発にみる軽井沢の歴史, 中軽井沢図書館 (長野, 2023.7).
19. 内田青蔵, 姜明采, 東京都復興記念館特別展: 同潤会がめざした理想的な住まいと住環境 (関東大震災 100 年記念事業), 東京都復興記念館 (東京, 2023.5-2023.8).
20. 姜明采, 日本生活学会創立 50 周年記念シンポジウム, 総合司会 (横浜, 2023.6).
21. 姜明采, 関東大震災 100 年の街並み, すみだ景観フォーラムシンポジウム, 墨田区役所 (東京, 2023.7).
22. 姜明采, 関東大震災の復興, ユートリヤすみだ生涯学習センター (東京, 2023.8).
23. 内田青蔵, 姜明采, 東京都復興記念館 常設展リニューアル(関東大震災 100 年記念事業), 東京都復興記念館 (東京, 2023.9-).
24. 内田青蔵, 姜明采, 同潤会がめざした 理想的な住まいと住環境 〜新しい都市と郊外の暮らし〜, 神奈川大学横浜キャンパス 3 号館企画展示室 (横浜, 2023.9).
25. 内田青蔵, 姜明采, 同潤会がめざした 理想的な住まいと住環境 〜新しい都市と郊外の暮らし〜, 神奈川大学みなとみらいキャンパス (横浜, 2023.11-12).
26. 姜明采, 震災記念堂の『日本趣味』の建築, 関東大震災研究についての報告&討論会, 神奈川大学日本常民文化研究所付置非文字資料研究センター (横浜, 2023.12).
27. 内田青蔵, 同潤会の事業紹介, 関東大震災から 100 年 震災復興をふりかえって -東京都復興記念館の所蔵資料と関東大震災 100 年特別展を中心に-, 神奈川大学日本常民文化研究所付置非文字資料研究センター (横浜, 2023.12).
28. 姜明采, 東京都復興記念館の展示リニューアル紹介, 関東大震災から 100 年 震災復興をふりかえって -東京都復興記念館の所蔵資料と関東大震災 100 年特別展を中心に-, 神奈川大学日本常民文化研究所付置非文字資料研究センター (横浜, 2023.12).
29. 内田青蔵, 鎌倉近代建築の保存 -自然災害からどう

- 守るか、パネラー、神奈川大学みなとみらいキャンパス、(横浜, 2024.2).
30. 曾我部昌史, 熊本地震震災ミュージアム 体験・展示施設 KIOKU 完成記念シンポジウム, ナースパワーアリーナ大ホール (熊本, 2023.7).
  31. 曾我部昌史, 基于当地资产和问题性的设计——Sogabe 实验室的项目, 北京交通大学 (中国, 2023.11).
  32. 伊東豊雄, 曾我部昌史, 柳澤潤ほか, 展覧会・大三島みんなの参道物語, 今治市伊東豊雄建築ミュージアム (今治, 2023.10-2024.9).
  33. 六角美瑠, Y 邸 H 邸設計展示, 「ロッカクと継承」展, 会場ロッカクパッチ (神奈川, 2023.4).
  34. 六角美瑠, 林憲吾, 山室興作, 「ロッカクと継承」シンポジウム (神奈川, 2023.4).
  35. 六角美瑠+六角研究室, 「新嘗興」, Koyart2023 展示, 会場横須賀美術館 (横須賀, 2023.11).
  36. 鈴木信弘, 住宅プランニングの切り口と技術—Architecture live, 間取りの学校春講座 (横浜, 2023.5).
  37. 鈴木信弘, なんのために設計するのか—Architecture live, 間取りの学校春講座 (横浜, 2023.6).
  38. 鈴木信弘, 総括: 家族 4 人の北斜面地における住宅設計—Architecture live, 間取りの学校春講座 (横浜, 2023.7).
  39. 印牧岳彦, 発生するユートピア: SSA とその建築・社会変革構想, 東京都市大学建築理論研究室連続レクチャー「歴史という操作/設計」(東京, 2023.4).
  40. 印牧岳彦, 近代建築運動と社会主義: そのアメリカ合衆国における一展開について, 第 135 回神奈川大学日本常民文化研究所研究会 (横浜, 2023.6).
  41. 須崎・印牧研究室, ARTBAY TOKYO アートフェスティバル 2023「Biotope Circles-生きるものたちの息づかいが聴こえる場所-」制作協力, アートプロジェクト実行委員会主催 (青海, 2023.9).
  42. 藤森照信, 中谷礼仁, 須崎文代, 渡辺甚吉邸特別講演会「今和次郎を語る」, 前田建設工業 ICI 総合センター (茨城, 2023.11).
  43. 立花美緒他, 「みんな」の学校をつくるには?—施設・ひと・コミュニティの特性を活かす学校—, 文部科学省 CO-SHA ミートアップ vol.2 (オンライン, 2023.11).
  44. 立花美緒, 蝶番の家+地域社会の学校, 東洋大学 (東京, 2023.12).
  45. 山家京子, 神奈川大学都市計画研究室, 「想像しようこれからの小町のこと。」-小町通り景観形成シーン集展示- (鎌倉, 2024.3).
  46. 野村和宣, 歴史をつなぎ生まれ変わる建築を考える—継承設計の取組—, 知的オフィス環境推進協議会 (SOEPA) 講演, (東京, 2023.6).
  47. 野村和宣, 姜明采, 関東大震災 100 年特別展 首都東京の復興ものがたり—未来へ繋ぐ 100 年の記憶—, 千代田区立日比谷図書文化館令和 5 年度特別展 (東京, 2023.9-2023.11).
  48. 高橋寿太郎, 公益財団法人不動産流通推進センター, 講師, 不動産エバリュエーション評価書活用講座 (東京, 2023.10).
  49. 高橋寿太郎, 京都工業繊維大学, ヘリテージアーキテクト講義「保存再生と不動産」(京都, 2023.10).
  50. 高橋寿太郎, 神奈川大学テクノフェスタ, 地方の関係人口とくらしの場づくり (横浜, 2023.11).
  51. 高橋寿太郎, 株式会社プライムライフテクノロジーズ, 社内講演「古いほど資産価値が高まる建築と不動産のあいだの法則」(東京, 2024.2).
  52. 高橋寿太郎, 東京都立大学卒業設計講評会 ゲスト講師 (東京, 2024.2).
  53. 上野正也, 六角橋のパブリックのつくり方, 六角橋商店街連合会まちづくり検討会 (横浜, 2023.12).
  54. 上野正也, パネリスト登壇, ACY 感謝祭 第三部「都市と田舎, 生活と表現のあいだを旅することで見えること ~令和の横浜使節団~, アーツコミッション・ヨコハマ (横浜, 2024.3).

## 助成金

1. 内田青蔵(分担), 近代における「民藝」と「田舎家」の相関と展開 最初の民藝館・高林邸の総合研究, 令和 5 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K04220.
2. 内田青蔵(代表), 姜明采, 草軽電鉄の北軽井沢別荘地開発とそれに誘発された理想郷・一匡邑について, 令和 5 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K04218.
3. 中井邦夫(代表), 曾我部昌史, 内田青蔵, 石黒由紀, 藤岡泰寛, 鈴木成也(分担), 戦後の防火建築帯に学ぶ都市建築類型学の構築と新しい都市建築モデルの探求, 令和 2 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 20K04839.
4. 須崎文代(代表), 印牧岳彦, 田中和幸, 姜明采, 内田青蔵, 泉水英計(分担), 近代日本のセツルメントハウスと公営住宅に関する史的研究—英・米の動向を参考として, 令和 3 年度科学研究費補助金, 基盤研究(B), 課題番号 21H01521.
5. 印牧岳彦, 建築理論における「環境制御」および「環境デザイン」の概念についての歴史的研究, 令和 5 年度科学研究費補助金, 若手研究, 課題番号 23K13487.
6. 須崎文代(分担), 里山再生を通じた事物連関型デザイン知性の開発, 令和 4 年度科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 22K18450.

7. 立花美緒(代表), 人口減少社会に対応した日本版コモンコア教育環境の開発, 平成 31 年度科学研究費補助金, 若手研究, 課題番号 19K15168.
8. 立花美緒(分担), オープンスペース型学校建築のプランタイプとしてみた有効性の検証, 令和 3 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 21K04402.
9. 山家京子(代表), 他, アジア都市の生活圏, 神奈川大学アジア研究所共同研究.
10. 趙衍剛(代表), 山家京子(分担), 他, アジア地域の災害軽減化と防災・減災ネットワーク構築に関する研究, 神奈川大学アジア研究所共同研究.
11. 山家京子, 上野正也, 柏原沙織(分担), 他, ポストコロナにおける持続可能なまちづくりに関する研究〜「日常生活資本」の新しい概念を中心にして〜, 神奈川大学分野横断型研究推進事業.
12. 柏原沙織(代表), 都市部同業者集積空間の文化的景観に関する研究 -東京都中央区日本橋横山町・馬喰町の間屋街地区に着目して-, 令和 3 年度公益財団法人国土地理協会研究助成.
13. 柏原沙織(代表), ベトナム・ハノイ旧市街の歴史的な商業形態の保全に向けた都市計画的手法の検討, 平成 31 年度科学研究費基金, 若手研究, 課題番号 19K15164.

## 受託研究・共同研究

1. 内田青蔵, 姜明采, 東京都復興記念館における震災復興事業の展示研究, (公財)東京都慰霊協会.
2. 松隈洋, 姜明采, 公益財団法人ギャラリーエークウッドにおける吉村順三とアメリカ展, (公財)ギャラリーエークウッド.
3. 内田青蔵, 姜明采, 建造物調査委託, 東京都北区飛鳥山博物館.
4. 曾我部昌史(代表), 吉岡寛之, 丸山美紀, 長谷川明「令和5年度 美波町官民連携まちなか再生推進支援事業(未来ビジョン策定)」, 徳島県美波町.
5. 曾我部昌史(代表), 吉岡寛之, 丸山美紀, 長谷川明「2023 年度門前町持続のためのまちづくり」, 徳島県美波町.
6. 鈴木信弘, 菊井悠央, 歴史的建築物(旧柳下邸)の修繕に関する研究, 横浜市建築保全公社.
7. 立花美緒, 研究奨学寄付金, 暮らしと建築社.
8. 立花美緒, 研究奨学寄付金, 総合資格学院.
9. 立花美緒, 研究奨学寄付金, ミリグラム.
10. 山家京子, 鎌倉市との包括協定に基づく小町通り商店街景観形成に関する調査研究, 鎌倉市都市景観課.
11. 山家京子, 上野正也, 柏原沙織, 神奈川大学, 京浜急行電鉄及び川崎市の京急本線及び京急大師線沿線におけるまちづくり推進に関する調査研究, 京浜急行電鉄株式会社, 川崎市.
12. 山家京子, 上野正也, 十日市場駅勢圏におけるまちづくりの推進に関する調査研究, 横浜市.
13. 上野正也, 創造界隈拠点にみる社会・地域的インパクトに関する調査研究, 横浜市.

## 海外出張

1. 内田青蔵, 曾我部昌史, 六角美瑠, 須崎文代, 北京交通大学・北京服装学院との学術交流(特別講義), 北京, 中国 (2023.11).
2. 姜明采, 韓国建築歴史学会秋季学術発表大会発表, ソウル, 韓国 (2023.11).
3. 内田青蔵, 姜明采, ロンドン・パリにおける歴史的建造物の視察, イギリス・フランス (2024.2).
4. 内田青蔵, 姜明采, 韓国における教会建築の視察, ソウルほか (2024.3).
5. 曾我部昌史, 東アジア国際交流ワークショップ, 台北他, 台湾 (2023.8).
6. 曾我部昌史, モンゴル ウランバートル・ゲル地区の調査視察(アジア研究センター), ウランバートル, モンゴル (2023.8).
7. 曾我部昌史, 北京交通大学および北京服装学院との学術交流, 北京交通大学ほか, 中国 (2023.11).
8. 曾我部昌史, マレーシア・ペナンにおける生活圏とまちなみ保全に関する調査, Think City ほか, マレーシア (2024.2).
9. 中井邦夫, パリにおける都市建築事例の視察調査, パリ, フランス (2023.8).
10. 鈴木信弘, 印牧岳彦, アドルフ・ロースの建築視察, 日本建築学会関東支部神奈川支所, ウィーン, オーストリア (2023.3-4).
11. 須崎文代, 印牧岳彦, セツルメントハウス研究におけるアメリカ合衆国・シカゴ現地調査 (2023.8).
12. 印牧岳彦, 上海磯崎新展の視察及び打ち合わせ, 上海, 中国 (2023.11).
13. 印牧岳彦, 科学研究費(課題番号 23K13487)による文献調査, サンフランシスコ, アメリカ (2024.3).
14. 須崎文代, 印牧岳彦, 「生活文化フィールドワーク」授業実施候補地の視察および打ち合わせ, ソウル, 韓国 (2024.3).
15. 印牧岳彦, 建築学科教育・研究費重点配分による研究調査(近代のユートピア的コミュニティとその建築的特徴に関する研究), パリ, フランス (2024.3).
16. 山家京子, 柏原沙織, 東アジア5大学建築都市国際ワークショップ, 台湾台北・高雄・台東 (2023.8).
17. 山家京子, 柏原沙織, International Conference of Asian-Pacific Planning Societies 2023 発表, Danang City, Vietnam (2023.8).

18. 山家京子, 柏原沙織, アジア研究センター調査, Penang, Malaysia (2024.2).
19. 柏原沙織, ハノイ旧市街都市景観調査, ハノイ, ベトナム (2024.3).

## 褒賞

1. 曾我部昌史, 加茂紀和子, 竹内昌義, マニユエル・タルディッツ, 横浜市立上郷中学校体育館改修, 令和 5 年度横浜市建築局優良建築設計者表彰, 横浜市 (2023.11).

## 学位

1. 立花美緒, デンマークの学校建築におけるコモンコアの空間・機能構成と利活用, 博士(工学), 東京工業大学 (2024.3).

## その他

1. 松隈洋, モダニズムが育んだ場所(1) 同潤会青山アパートの面影, 日本経済新聞, 12 (2023.9).
2. 松隈洋, モダニズムが育んだ場所(2) 清新な神奈川県立近代美術館, 日本経済新聞, 12 (2023.9).
3. 松隈洋, モダニズムが育んだ場所(3) 「生活の根拠地」求めた日野市立中央図書館, 日本経済新聞, 12 (2023.9).
4. 松隈洋, モダニズムが育んだ場所(4) 緑と一体 服部緑地都市緑化植物園, 日本経済新聞, 12 (2023.9).
5. 姜明采, 震災 1923 100 年に向け「同潤会」企画展復興支えた「住」に光, 神奈川新聞, 20 (2023.6).
6. 姜明采, 関東大震災 100 年(2) 慰霊の造形 現代の風景に息づく, 日本経済新聞, 14 (2023.8).
7. 内田青蔵, 創設 100 年を直前にして同潤会を振り返る, DOCOMOMO Japan 会報 34 号 特集「震災復興 100 年」, 2-5 (2023.9).
8. 姜明采, 関東大震災の記憶を継承する唯一無二の場所, DOCOMOMO Japan 会報 34 号 特集「震災復興 100 年」, 10-11 (2023.9).
9. 姜明采, 関東大震災 100 年の先へ 教訓に建築史の視点で向き合う 神奈川大特別助教・姜明采さん, 神奈川新聞, 20 (2023.12).
10. 姜明采, 関東大震災 100 年の先へ 関東大震災の教訓継承に新たな視点は 横浜でシンポ 中国人虐殺にも言及, 神奈川新聞, 22 (2023.12).
11. 松隈洋, NHK 教育テレビ「日曜美術館 戦後新宿・渋谷をつくった建築家 坂倉準三」出演 (2024.1).

12. 松隈洋, 書評(隈研吾『日本の建築』)「伝統と向き合った先人たち」, 日本経済新聞 (2024.2).
13. 内田青蔵, ひと, 現代・和室の会会長に就任する内田青蔵さん, 毎日新聞, 4 (2024.3).
14. 曾我部昌史, 建築逍遙・みんなの家利活用プロジェクト, 神奈川大学評論, 105, 表紙裏 (2024.3).
15. 六角美瑠, 東利恵, クロスレビュー「都市を住み継ぐ」, LIXIL eye, 29 (2023.7).
16. 鈴木信弘, 第 65 回神奈川建築コンクール作品集 選評, 14-17, 神奈川県 (2023.9).
17. 須崎文代, Kitchens, Japanology Plus (TV 番組), NHK World Japan (2023.1-2025.3).
18. 須崎文代, 特集 進化する日本のキッチン, 建材マンスリー, 693, 2-3, 住友林業 (2023.7).
19. 印牧岳彦, 著者に聞く: 建築は社会を捉えるための窓口, 日経アーキテクチュア, 1228, 80 (2023.4).
20. 須崎文代, ハニヤスの子(第 1 回)「ふうど」と暮らし, 味の手帖, 664, 57 (1) (2024.1).
21. 須崎文代, ハニヤスの子(第 2 回)「ふうど」と人をつなぐもの: その 1 便所, 味の手帖, 665, 57 (2) (2024.2).
22. 先生と学生たちは, いまこんなことを考えている。ケンチク学ビバ(vol.57)神奈川大学 建築学部 建築学科 住生活創造コース 生活デザイン史研究室 准教授 須崎文代 特別助教 印牧岳彦, 建築資料研究社, コンフォルト, 195, 124-126 (2024.2).
23. 須崎文代, ハニヤスの子(第 3 回)「ふうど」と人をつなぐもの: その 2 土間, 味の手帖, 666, 57 (3) (2024.3).
24. 立花美緒, 先生ワークショップ 3 生徒の居場所編, 伊那新校ワークショップに向けた研修, 暮らしと建築社・みかんぐみ設計共同体, 長野県教育委員会 (長野, 2023.4).
25. 上野正也, 横浜都市デザインの 50 年『文化芸術創造都市・横浜』, 造景 2023, 株式会社建築資料研究社, 98-103 (2023.8).
26. 上野正也, 書評『世界に学ぶ自転車都市のつくりかた一人と暮らしが中心のまちとみちのデザイン』自転車からみたまちと社会, 神奈川大学評論, 105, 66-67 (2024.3).